

「新潟市工」石碑修復保存 技術者育てた歴史 後世に

中央区



「新潟市工之跡」の石碑修復を喜ぶ卒業生ら＝新潟市中央区

新潟市中央区にあった旧新潟市立工業高校の跡地に建つ石碑「新潟市工之跡」が修復され、除幕式が行われた。卒業生や住民らが地域の発展に貢献した学校に思いをはせた。

新潟市工は1945年、現在の中央区附船町1に開校し、機械科や造船科などがあった。82年に閉校するまで約7千人の技術者を育てた。石碑は閉校前年の81年、学校の敷地に建てられた。

閉校後は市の旧北部総合コミュニティセンターとして利用されてきたが、昨年

建物が解体され、現在はひらせいホームセンター附船町店が立つ。
解体に際し、石碑の撤去話が持ち上がったところ、地元住民が卒業生らに呼びかけて保存会を結成。同店の協力を得て、保存することになった。
碑は台座を含め高さ約1・5メートル、幅約1・4メートル、約100万円かけて、地震対策のための基礎くい打ちを施し、台座を新調するなどした。保存の経緯を記した説明板も新設した。



【新潟市工】申請願は... 新潟市立工業高校卒業生らによる石碑修復保存会